

Tokyo Akademische Kapelle

Tokyo Akademische Kapelle

東京アカデミッシェカペレ

東京アカデミッシェカペレは、合唱指揮者として活躍している阿部 純氏を団長、作曲家・キーボード奏者である鈴木隆太氏を副団長として創設されたアマチュアとしては数少ないオーケストラと合唱団の共存する団体である。社会人を中心に学生、主婦など10代～60代と幅広い年齢層からなるメンバーは「ライフサイクルを通した音楽活動」をテーマに、数多くの優秀なプロの指導陣の協力を得て、春秋年2回の演奏会を行っている。

1990年2月の第1回演奏会以来、ゲルハルト・ボッセ、外山雄三、飯守泰次郎、小林研一郎、井上道義各氏をはじめとするさまざまな指揮者・ソリストとの共演を重ね、貴重な音楽経験を積んできている。

これらの演奏活動は「常任指揮者を置かず、毎回指揮者の意向を取り入れた独創的なプログラムを組むことにより、斬新で水準の高い演奏を目指す」という当団の方針によるものである。今後もオーケストラと合唱が共存する事によるあらゆる可能性を求め、独自の活動、運営を目指して行きたいと考えている。

角田 鋼亮(指揮)



© Makoto Kamiya

東海高校卒業後、東京藝術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。

これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、愛知室内オーケストラ、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。

2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される指揮者の一人として各地にて活躍の場を拡げている。2016年「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」、2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。セントラル愛知交響楽団とのCD「ラフマニノフ交響曲第2番&モシユコフスキ組曲「諸国から」」〈エルガー：エニグマ変奏曲〉をオクタヴィア・レコードよりリリースしている。

2024年4月より、セントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。

<http://kosuketsunoda.com>

合唱団員募集

各パート(特に男声)募集。60歳以下で合唱経験のある方。
練習日程・会場、費用等の詳細はお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

E-Mail: tokyo.akademische.kapelle@gmail.com

次回演奏会案内

第71回演奏会

日時：2026年11月23日(月祝)

会場：ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮：藤岡 幸夫

曲目：G.ヴェルディ「レクイエム」ほか